

進路に向けて休業期間中にやっておくこと

1 就職希望者

【例年の流れ】 休業開けにすぐ就職活動がはじまります。

- 6月 昨年の求人票を見て、三者面談前に候補をしぼる
- 7月頭 求人票公開 応募できるのは1人1社
- 1週間後 「就職選考申込書」提出（応募）・校内選考（不合格の場合は再応募）
- 7月後半 事前指導・会社見学（受験を決めたら「就職受験申込書」提出）
- 夏休み 「履歴書」作成、受験（面接・作文・一般常識）の準備
- 9月 就職試験（「受験報告書」「礼状 入社承諾書」「合格体験記」作成）

【休業期間にやっておくこと】

① 自分の希望を明確にしておく

例年にくらべ求人票を見る期間が少ないので、自分の希望する会社・自分に合った会社を短期間で見つけなくてはなりません。そのため、自分が求めていることをはっきりさせておきましょう。はじめに、職種をしぼりこむ。「製造業」ではなく「食品の製造」や「車の部品の製造」など。「家から30分以内」や「交代制で深夜勤務でも大丈夫」などの自分が働く条件を書き出す。そして、優先順位をつけておく。

② 一般常識の対策をはじめ

国語は、漢字（セレクト漢字検定）・ことわざ・四字熟語
数学は、昨年3学期に使用したワーク
英語は、教科書付属のワークブック

2 進学希望者

【例年の流れ】 学校ごとに日程がちがうので、必ずホームページで確認すること。

- ～夏休み 学校説明会・体験授業・オープンキャンパス等に参加、第一志望を決める
学校案内・募集要項を取り寄せる。（指定校一覧は9月に教室掲示）
- 2学期 出願（学校や受験方法によって必要書類・期間が異なるので注意）
出願前に「推薦書（高校が書く）」や「志望理由」など必要書類が多い
- 9月～12月 入学試験（学校によって異なる。多くの学校は面接と小論文を実施）

【休業期間にやっておくこと】

① 各学校のホームページを定期的に見る。

現在、学校説明会などができません。どの学校も受験生に向けたページで情報を発信しています。そこを定期的を確認して入試情報を手に入れましょう。過去の問題や学習サポートを載せたり、「オンライン説明会」を実施している学校もあります。

② 志望理由書を原稿用紙（400字）1～2枚程度で作成する。

- ・将来の希望・意思（将来なりたいもの、その理由ときっかけ）
- ・学校・学部の魅力（自分の希望を実現に導く学校・学科の魅力）
- ・将来の展望（学校生活でしたいこと、卒業後どのように勉強したことを活かすのか）
それをホームページの「アドミッションポリシー」（学部・学科のページにあります）
「求める学生像」などと合っているのかを確認する。